

4/28 五穀豊穡や区の発展願う  
我如古サングワチャー(豊年祭)



旧暦3月3日に拝みをすませた後、我如古サングワチャーが同公民館で開催され、市の無形民俗文化財に指定されている「スンサーミー」が、婦人会、保存会により披露されました。「スンサーミー」は600年以上の歴史があり、我如古グスクが造られた際の祝賀で披露されたのが始まりと言われてます。公民館には約300人の区民が集まり、五穀豊穡や子孫繁栄を願いました。

5/1 「人道と博愛」の理念の下  
赤十字活動資金募集増強運動出発式



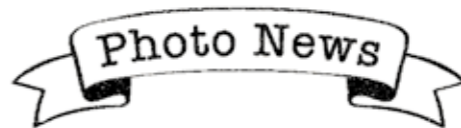
各種災害救護活動や輸血用血液の供給などの事業の活動資金募集を行い、全面的に支える運動として「赤十字活動資金募集増強運動出発式」が市役所玄関前にて行われました。今年も第1号として沖縄綿久寝具(株)より寄付金が贈呈されたほか、新たに配備された災害救護連絡車の紹介がされました。今後とも、赤十字活動へのご理解とご協力をお願いします。



宜野湾市のいろいろな話題



# こみゆにてい見聞録



— 市の動きやまちの出来事をお届けします! —

5/11 12 めげせ、2018セントラルリーグ優勝 日本一!!  
横浜DeNAベイスターズ球団表敬訪問



日々熱戦を繰り広げている横浜DeNAベイスターズを激励するため、本市と横浜DeNAベイスターズ宜野湾友の会、第31代はごろもレディは、横浜DeNAベイスターズの球団表敬を行いました。佐喜眞淳市長の激励の言葉に対して、岡村信悟球団社長より「昨年果たせなかった日本一に向けて頑張りたい」とのお言葉がありました。また本市の少年野球チーム、普天間隼、大謝名ベイスターズの2チームも同行し、球場で県出身の嶺井博希選手から両チームへグッズの贈呈がありました。

また翌日には、市内2チームと横浜市中区少年野球チームとの交流試合が行われ、元気いっぱいのプレーで熱戦を繰り広げました。終了後は中区少年野球連盟による交流会が催され、様々な余興で盛り上がり、本市と中区の交流を深めることができました。



4/26 「郵便局みまもりサービス」  
ふるさと納税返礼品に関する協定締結式



離れて暮らすご家族をつなぐため、郵便局員が親御さんのご自宅を毎月1回みまもり訪問等を行い、その結果を市外へ住むご家族へお知らせするサービスを市ふるさと納税返礼品とする協定締結式が行われました。宜野湾郵便局長の玉寄宗充さんは「地域の皆さまの生活を生涯に渡って支援していくことで、豊かな暮らしの実現に貢献していきたい」と語られました。

4/20 ぎのわんの地域づくりを応援!  
地域づくり推進事業助成金交付決定式



市民が自ら考え行う地域づくり事業として、人材育成事業・地域文化振興事業などに対し補助金を交付する「地域づくり推進事業助成金」の交付決定式が行われました。プレゼン審査により決定した5団体の皆さんが今年度、フラワーロード事業、歴史文化ガイドマップ作成事業、応急手当教育事業、郷土芸能祭事業、地域コミュニティ活性化事業に取り組みます。

4/28 2020年東京オリンピックの成功に向けて  
「沖縄-東海ヨットレース 2018」前夜祭



2年に一度開催される「沖縄-東海ヨットレース 2018」の前夜祭が宜野湾マリーナ内FISH TAILにて行われました。今回、2年後に開催される東京オリンピックの応援プログラムとして、ヨットで日本一周応援フラッグリレーの出発式も同時開催されました。今後フラッグは2年をかけて日本各地を周回後、オリンピック・セーリング競技会場の神奈川県江の島に到着する予定です。

4/26 目の不自由な方へ市の情報を  
音訳・朗読ボランティアブーゲンビリア来訪



視覚障がい者や弱視の方へ、市報・社協だより等を音訳し情報提供を行っている、音訳・対面朗読ボランティア「ブーゲンビリア」の関係者が市役所を訪れ、「沖縄の由来ばなし」の点訳本と朗読CDの贈呈を行いました。代表の大山さんから「現在も希望のあった本の朗読CDを作成している」と報告の後、新メンバーの翁長さんと高良さんによる「普天間宮の女神」と「クスクー」の朗読が披露されました。